



←石狩市公式LINE

災害が起きたときに 必要なのは？

何よりもまず**身の安全を確保**することです。そして安全に行動するために必要なものこそ、**正しい情報**に他なりません。「避難が必要か」「災害は発生しているのか」「どの程度の災害規模なのか」という情報を得ることで、初めて焦らず冷静に対処することができま

す。市では市民の皆さんにいち早く地域の防災・災害

情報を伝えるため、HPやメールの他、**石狩市公式LINE**も活用しています。こちらは、あらかじめ配信設定が必要のため、利用可能な方は、万が一に備えて今から登録をお願いします。

●正しい情報を得る方法

- ①テレビ・ラジオ・スマートフォンなど
※信頼できる情報源を選びましょう
- ②市からの情報
(LINE、X(旧Twitter)、メール配信サービス、HP、広報車)
- ③気象庁や消防署など行政からの情報
- ④防災行政無線
(☎72・3150で確認も可)



▲LINE友だち登録



▲防災行政無線

災害に備えて 普段からできることは？

また、もしもの時はどこへ避難するのか、家族が避難場所まで行けるのかなど、今一度確認することも大切です。それにはやはり、実際に歩いてみるのが一番。**石狩市地区防災ガイド**には危険な場所や避難場所が、**地区防災マップ**には地区ごとの地震や洪水時の避難方向なども示しています。ウォーキングを兼ねて、自身の足で距離や時間を確かめておくと安心ですね。

教えて！ いしかりの ライフライン 防災編



市役所には毎日多くの問い合わせがあります。その中から都市生活を維持する上で欠かせないライフラインに関するものをピックアップ。

今回は9月の「防災月間」にちなみ、さまざまな災害対策について、危機対策課が皆さんの疑問にお答えします！

☎危機対策課 72・3190

石狩市 地区防災 ガイド

令和4年3月改訂版



▲石狩市地区防災ガイド

地区ごとに最新の津波や洪水の浸水想定、土砂災害警戒区域などの情報を掲載。市役所3階危機対策課で配布しているほか、市HPやデジタルブック「カタログポケット」でも見ることができます。



▲カタポケ

どんな準備をしているの？ まちの避難所

避難所などの数

市内には、災害などにより自宅で過ごすことが困難になった場合に、一定期間の避難生活を行うための施設として39カ所の「指定避難所」を指定しています。

また、災害などから身を守るため、一時的に避難し集合する場所として、災害の現象に応じて61カ所の「指定緊急避難場所」を指定しています。

避難所の備蓄品

大規模災害に備え、災害弱者に配慮した食料を備蓄するとともに、ストーブや毛布などの防災備蓄品の計画的な整備を進めており、これらを各指定避難所へ分散・備蓄しています。



▲市の備蓄品

発電機の設置

市内の各指定避難所には、これまでも可搬型発電機の配備を進めていましたが、北海道胆振東部地震の際には、スマホなど電子機器への充電ニーズが多かったことから、可搬型発電機のさらなる配備充実を図っています。



▲可搬型発電機

避難の心得

- テレビ、ラジオなどの災害情報をよく聞き、慌てず落ち着いて行動しましょう
- 避難情報が発令された場合は、速やかにその指示に従いましょう
- 避難に時間を要する方やそのご家族は、早めに避難しましょう
- 隣近所の人たちと声を掛け合って、集団で避難しましょう
- 避難前にはガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを切っておきましょう
- ヘルメットなどを着用し、運動靴をはいて徒歩で避難しましょう
- ブロック塀や自動販売機など、倒れる恐れがあるものには近づかないようにしましょう

災害に備えて どんなものを備蓄したらいい？

平成30年に北海道が発表した、石狩市の想定最大規模の地震は震度7です。冬の早朝に発生した場合、最大の被害になると考えられており、死者数は20人、避難者数は約1万4千人になると想定されています。被災者は避難所に行くほか、自宅で安全を確保することも考えられますが、大規模災害では水道・電気・ガスなどのライフラインや物流が一時的に停止することも。そのため、自宅の備蓄品は最低でも**3日分**、可能であれば1週間分を用意しておきたいものです。



少し多めにキープ



無くなる前に補充

今回、下記にご紹介する備蓄品は、必要最低限の飲料水・食料・日用品で、これらは**ローリングストック法**で普段から少し多めに買い置きしておくことをおすすめします。防災用と分けて保管しないため場所をとらず、取り組みやすいので、ぜひお試しください。 ※古いものから消費し、使った分を買い足して、一定量を確保しておく方法

●備蓄品(一部) ※その他は地区防災ガイド参照

- 飲料水(1人1日3ℓ)
- 非常食(すぐに食べられる調理不要なもの)
- トイレtpaperと簡易トイレ
- 粉ミルクや紙おむつなど
(家族構成に合わせて)

●非常時持ち出し品で気を付けたいこと

- 実際に自分で持ち運べる重さであること
- 玄関近くなど取り出しやすい場所にあること
- 通帳、印鑑など貴重品を準備すること
- 服用している薬やお薬手帳を準備すること